

(令和4年12月1日現在)

1. 地域における技能振興事業

事業実施状況

(1) 技能五輪全国大会予選の実施等

① 技能五輪全国大会の予選の実施

若年者の技能向上を図るため、技能競技大会への参加や上位入賞など目標を掲げる事で、より一層の効果が期待できるものとし、多くの企業・教育訓練機関に対して予選会への参加について働きかけを行い、以下に示す1職種について実施し、今後2職種の実施を予定している。

No	職種	選手	実施日
1	精密機器組立て	8人	令和4年6月11日
2	電気溶接	8人(予定)	令和5年2月3日(予定)
3	プラスチック金型	5人(予定)	令和5年2月8日,10日(予定)
	3職種	21人(予定)	

*当初、電工職種の実施も計画していたが参加予定企業から辞退の連絡があった。

② 各種競技大会への参加支援の実施

技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加を促進するため、中小企業・教育訓練機関等に所属する参加選手と指導者の旅費と工具等の運搬について援助を行い、若年技能者の大会参加を支援する。

(7) 技能五輪全国大会への援助

○第60回技能五輪全国大会(令和4年11月4日~7日・千葉県で開催)

支援対象

No	職種	選手	指導者	所属
1	建築大工	2人	2人	県立水戸工業高等学校
2	建具	1人	1人	(有)石塚木工所
	2職種	3人	3人	

(i) 若年者ものづくり競技大会への援助

○第17回若年者ものづくり競技大会(令和4年7月27日~28日・広島県で開催)

支援対象

No	職種	選手	所属
1	建築大工	1人	県立水戸産業技術専門学院
	1職種	1人	

(2) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職する事を促進するため、茨城県内における卓越した技能者（現代の名工）の被表彰者の取材を行い、中央技能振興センターが運営するサイト「技のとびら・現代の名工 Navi」に掲載されるコンテンツの作成支援を行う。

	被表彰者数	掲載日
令和3年度	7人	令和4年3月
令和4年度	4人	令和5年3月（予定）

(3) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

両事業は令和4年度新規認定を行わないため、現時点では特に対応が必要な事案はないが、既認定事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際は適宜中央技能振興センターへの取次ぎを行う。

2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務

事業実施状況

(1) ものづくりマイスター等の開拓

従来のものづくりマイスター、ITマスター、テックマスターの3類型がものづくりマイスターの1類型に統合整理された（令和4年10月）。新たに策定された認定要件及び対象分野に基づき、ものづくりマイスターの候補者について情報収集を行う。当協会の会員企業等に制度の周知を行い、定年退職者及び早期退職者などものづくりマイスターとして活動が望める方の情報収集など、ネットワークを活用した開拓を進める。厚生労働省により目標が定められており、令和4年度は令和5年1月に予定の第2回受付での申請を予定している。

ものづくりマイスターの登録 目標値 延べ4人以上

業種	令和4年度	令和3年度まで	延べ認定者数
ものづくりマイスター	4人	335人	339人
ものづくりマイスター(+DX)	0人	0人	0人
ものづくりマイスター(IT部門)	0人	66人	66人
合計	4人	401人	405人

(令和5年3月までの見込みを含む)

(2) ものづくりマイスターへの説明

指導技法等講習の受講が必要とされるものづくりマイスター認定者に対して、実技指導に当たる前に受講が必要である旨、説明をする。また、特に既に認定されたITマスターに対しては、新たに策定された認定条件及び対象分野の従来からの変更点を説明し、ものづくりマイスター（IT部門）として活動を継続するか否かの意思確認を行う。

(3) 申請書類等の取りまとめ

新たに策定された認定申請要綱に基づき申請等に係る相談に対応するとともに、認定基準を満たしているか、証明書等の添付書類に不備がないか、申請書の記入ミスがないか等を確認する。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

今後新たに登録されるものづくりマイスターの内、必要と認められる方に対して実技指導結果報告の作成方法等の事務、指導における個人情報保護・各種ハラスメントの防止・若年者等との接遇に関する知識付与等も含めた指導技法等講習を行う。ただし、職業訓練指導員免許を有している方は受講を免除する事が出来る。

3. ものづくりマイスターの活用に係る業務

事業実施状況

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助

中小企業、高等学校等に対して事業利用に向けた相談を受ける窓口を設け、技能検定の実技試験等を活用した若年技能者の人材育成に係る取組みなどを紹介し、新たな派遣先の開拓を進める。11月末までの相談・援助の実績は以下の通り。

若年技能者の人材育成に係る相談・援助

	企業	団体	教育訓練機関	地方自治体	その他*
相談者数 (内新規数)	18社 (9社)	2団体 (1団体)	5機関 (1機関)	3所 (2所)	8所 (8所)
相談回数	24回	2回	7回	3回	11回

*NPO法人等

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

派遣先から要請を受けた内容について、そのニーズに対応できる最適なものづくりマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題や技能検定試験の実技試験問題などを用いた実技指導を行った。また、ものづくり産業への理解を深める機会の創出を図るため、小中学生を含む不特定多数を対象にもものづくりへの興味を得られる内容で公共施設等への派遣を行った。11月末までの活動数実績としては1,552人日であり、12月以降も高等学校への派遣が多く見込まれることより厚生労働省設定の目標値は達成できる見込みである。

ものづくりマイスターの派遣 目標値 活動数2,000人日以上

派遣先	派遣数	日数	派遣者数	活動数
① 中小企業	25社	302日	302人日	707人日
② 業界団体	1団体	4日	14人日	131人日
③ 高等学校	12校	126日	183人日	1,240人日
④ 公共施設等	16所	23日	98人日	708人日
合計			597人日	2,786人日

(令和5年3月までの実施見込みを含む)

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

サポステ事業の支援対象者は様々な要因を抱えている若者が多く配慮が必要であるため、県内のサポートステーションと連携を図り有効活用が見込まれる場合は、積極的に検討・協力を行うが、現時点までは相談依頼がなく実施なし。

(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種について、若年技能者や高校生の技能向上を図るため、熟練技能者の派遣を行った。また、公共施設等においては、ものづくりマイスターと同様に小中学生を含む不特定多数を対象にものづくりへの興味を得られる内容で派遣を行った。

熟練技能者の派遣

派遣先	派遣数	日数	派遣者数	活動数
① 業界団体	—	—	—	—
② 高等学校	1校	5日	5人日	65人日
③ 公共施設等	1所	1日	4人日	32人日
合計			9人日	97人日

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

事業実施状況

(1) 連携会議の設置

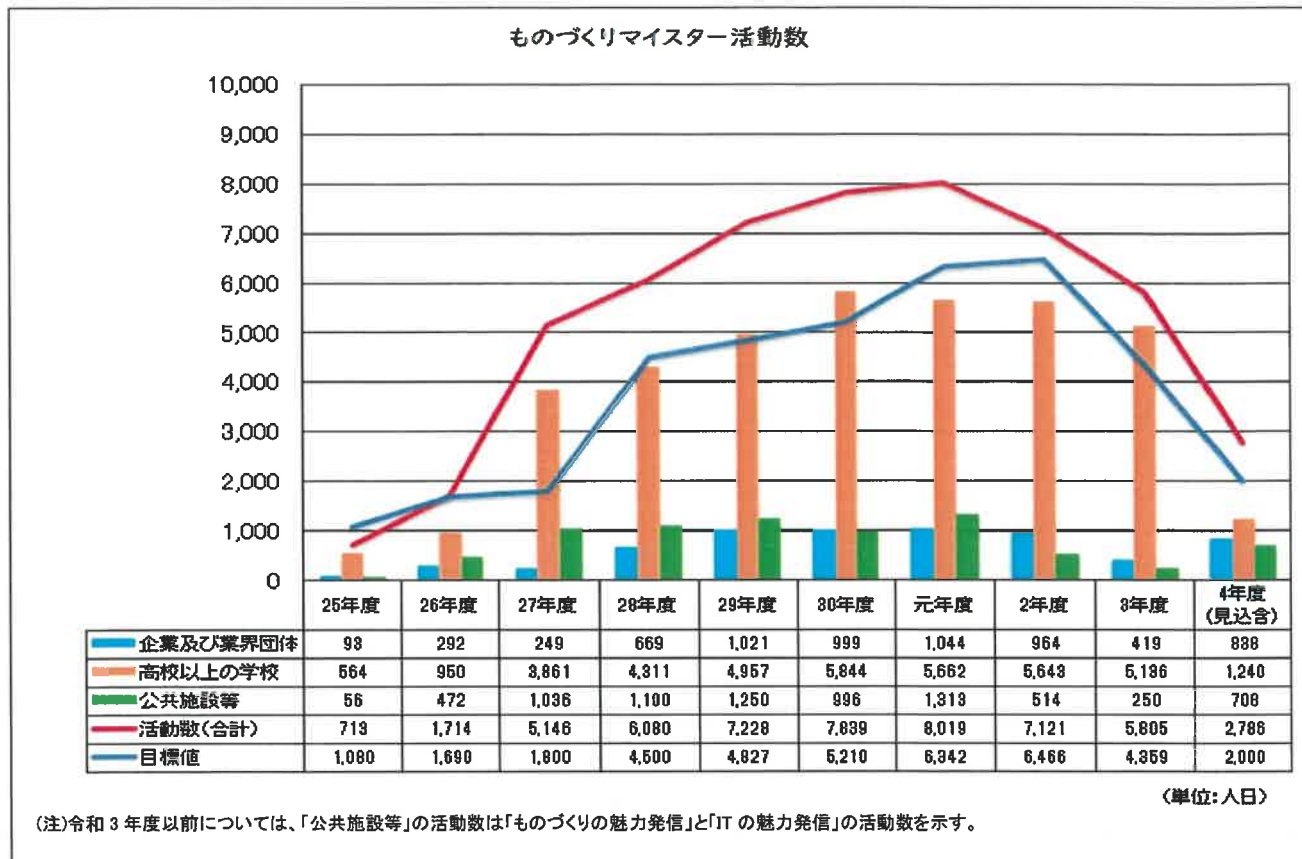
本事業の効果的な実施、さらに関係者の取り組みによる相乗効果を図ることを目的に連携会議を設置し、次の団体の代表者を委員として委嘱し、相互協力を図る。

- ・一般社団法人茨城県経営者協会
- ・茨城県中小企業団体中央会
- ・公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構
- ・茨城県商工会議所連合会
- ・茨城県商工会連合会
- ・茨城県技能士会連合会
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部
- ・茨城県産業戦略部労働政策課
- ・茨城県教育庁学校教育部高校教育課
- ・茨城県職業能力開発協会

(2) 連携会議の開催回数

	1回目	2回目
時期	令和4年6月16日	令和4年12月13日
内容	令和4年度推進計画の決定	令和4年度の事業実施状況等の報告
状況	新型コロナウイルス感染予防のため、WEB会議にて実施して、委員10名の同意を頂き、推進計画を決定した。	新型コロナウイルス感染予防のため、集合形式を取り止め、第1回会議と同様にWEB会議で対応する。

5. ものづくりマイスター実績推移について（平成25年度～令和4年度）



6. ものづくりマイスター派遣に関する対前年度比較 ※令和4年度は見込みを含む

(1) ものづくりマイスター派遣先別受講者数

令和4年度の受講者数は、前年度比で48%に減少した。これは、今年度から同一企業・高校への連続派遣を認めない制度変更の影響による。企業については新規派遣先の開拓等によりコロナの影響により前年度激減した分を回復することが出来た。しかし、高校については下半期に制限が緩和されたが大幅に減少した。公共施設等での体験数については、NPO等の協力の結果、前年度までの「目指せマイスタープロジェクト」の受講者数から大幅に増加した。

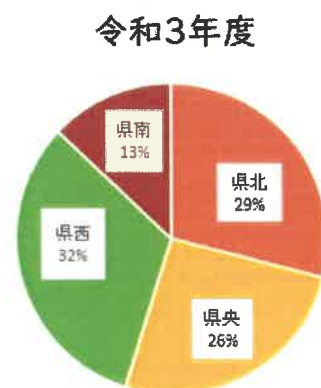
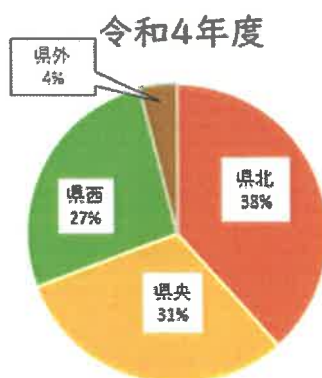
	企業・団体(実技)	高校(実技)	公共施設(体験)	合計
令和4年度 受講者数	838人	1,240人	708人	2,786人
令和3年度 受講者数	419人	5,136人	250人	5,805人



(2) ものづくりマイスター地域区分別派遣状況（企業・団体）

令和4年度の地域区分別の派遣数は、県北、県央はほぼ前年並みであったが、県南、県西が減少した。このため、派遣割合としては県北、県央で約3/4を占める結果となった。

	令和4年度	令和3年度
県北	10件	9件
県央	8件	8件
県西	7件	10件
県南	0件	4件
鹿行	0件	0件
県外	1件	0件
	26件	31件



(3) ものづくりマイスター職種別派遣状況（企業・団体）

令和4年度の職種別の派遣について、機械加工職種が増加、電子機器組立て職種は減少している。それ以外の職種については令和3年度と変わらず指導希望があった。

